

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1770101523		
法人名	公益社団法人 石川勤労者医療協会		
事業所名	グループホーム おんぼら〜と ゆっくり		
所在地	石川県金沢市浅野本町2丁目23番21号		
自己評価作成日	平成30年12月2日	評価結果市町村受理日	平成31年1月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	(有)エイワイエ研究所
所在地	金沢市桂町口45-1
訪問調査日	平成30年12月12日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

皆さん、お一人お一人の生活歴、価値観を尊重した生活になるように、努めている。介護度・認知症の進行状況・身体状況が違っても、その方が大切に生きてきた生活習慣をサービス内容として実践し、その方らしい生活になるようにしている。入居者のその時、その瞬間を「共に生きる」ことを最近は特に大切にしている。活動的な方には、希望の地へドライブや買い物、外食などを実践し、重度な方には、多職種連携(OT・PT・ST)で安楽に過ごすことも大切に支援してきた。入居者の視点に立ち、喜怒哀楽が自由に表現できることも生活の一部として、ケアの幅が広がっている職員間でも、意見交換、悩みの共有をしながら、共に学びあう環境も大切にしている。パーソンセンタードケアを軸にして、ポジティブな視点から、ケアを提供することを常に心掛けてきた。また、3年前より、地域のボランティアの力をお借りして、生活の潤いに繋げている。今年度より、知的障害のある方のボランティアを受け入れ「共生」に向けての取り組みも行っている。今年度は当ホームで4月に1名、9月に1名、10月に3名、11月に1名の方が老衰で自然な形で看取りが行えた。多職種連携・ご家族と連携し、どの方も穏やかな旅立ちとなり、その実践は、日本在宅ホスピス協会全国大会でも発表した。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

当ホームは「みんながってみんないい」を理念として掲げ、利用者一人ひとりの生活歴や“今”を大切にハートウォーミングな個別支援に取り組んでいる。日常生活場面での利用者の「思い」が込められた言葉・職員の気づきをセンター方式(=私の姿と気持ちシート)に集約し、3ヶ月毎に更新・見直している。ケアカンファレンスでは今現在の「思い」を職員間で検討・共有し、ケアプランや日頃の支援に反映している。又、パーソン・センタード・ケアを軸に、ケアプランには利用者個々の「楽しみ・生きがい・役割」を大切に目標を定めるようにしている。モニタリング・評価時は利用者個々の持っている「強み」を活かせるよう、ポジティブ(出来ている事)面やスマイルトピックを重視している。医療・健康管理面では同一法人内のクリニック医師によるサポート体制を整えている。認知症に詳しい医師が担当し24時間の連携を確保している為、利用者・家族・職員の安心につながっている。又、法人全体の多職種による十分なバックアップを得ながら、重度化・看取りの支援を実践している。終末期を迎えても最後まで「その人らしく」暮らせるよう、QOLの視点を大切に緩和ケアに取り組んでいる。地域とは町内行事への参加、ホーム主催のお祭りへの招待、障害者ボランティアの受け入れ、除雪作業時の助け合い等を通じて交流を図っている。ホームの活動や認知症に関する話題・漫画を記した通信を継続的に発行(年4回)し、地域住民の理解がより深まるように働きかけている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~59で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
60 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	67 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
61 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,42)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	68 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
62 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:42)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
63 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:40,41)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
64 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:53)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	71 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
65 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	72 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
66 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		